

の
県
マン
シ
ヨ
ン
の
マ
ン
シ
ヨ
ン

43駅で供給過剰へ

民間予測
今後2年の戸数計算

埼玉県は今後、マンシヨンの供給過剰に陥る可能性が高い。マンシヨン関連コンサルティンクのトータルブレイン(東京・港、久光龍彦社

長)はこんな調査結果をまとめた。これまでの需要に比べ、今後予定されている供給戸数が多いことが需給バランスをゆがめているという。

調査対象は埼玉県内の主要8路線66駅。今後2年間に想定される供給戸数と過去10年間の需要を基に独自の指数を用いて計算したところ、約65%

となる43駅で需給バランスが崩れる恐れがあるという。これは神奈川県50%や東京都下の43%を大きく上回る。

埼玉県ではマンシヨンのライバルとなる戸建て住宅が駅から15分以上離れていることが多いと分析。ただ全県をみると供給過剰感が強く、交通の

利便性が高い駅や、駅に
マンシヨンでなければ売
近い立地など、好条件の
れにくいとみている。